

希望 愛 信仰  
存 続 の 者 は 必 ず

山形学院だより

2024年度

第1号

2024. 4. 27

PTA総会

発行人・佐藤圭一



山形学院高等学校

## 桜の開花・春の陽ざしを感じ新年度はじまる

4月6日(土)の午前に2・3年生で始業式を行い、午後には2024年度入学式が行われました。2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。また、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学式では校長より入学を許可された新入生を代表して、杉原美咲さんが高校生活の抱負と決意を述べました。新しい環境で新しい仲間との新しい生活が始まりました。山形学院高校で自分の夢の実現のために、充実した高校生活をスタートして欲しいと思います。2024年度が充実した一年となるよう教職員一丸となって支えていきます。



### 学校づくりビジョン (2020~2024年度)

#### 学び、深め、気づき 「夢」を「目標」にできる学校

2020年度より「学校づくりビジョン」として、『学び、深め、気づき「夢」を「目標」にできる学校』を掲げ、全教職員で取り組みます。①主体性を引き出す授業 ②多様性に沿った指導 ③進路実現への支援を教職員の共通課題とし、生徒一人ひとりの学力・個性・目標にあった細やかな指導を進め、毎日の授業を大切にしていきます。そして、生徒に寄り添い、それぞれの希望する進路実現を支援していきたいと考えています。また、「生徒とともに生き、学び、成長する」～生徒一人ひとりを大切に～という教育実践課題の基に、信頼され選ばれる学校を目指します。

#### めざす生徒像

1. あいさつがしっかりできる生徒
2. 感謝と思いやりの心を持って生活できる生徒
3. 正しい判断力を持って、自主的に行動できる生徒
4. 進路実現を目指し、意欲的に取り組むことができる生徒



〈チャペル:礼拝堂(定員920名)〉

#### 〈学院のひとコマ〉



本校では毎朝、8時45分から15分間、全校生・教職員がチャペルに集い、礼拝を守っています。礼拝で一日が始まるというのは、他校にはない本校ならではの朝の様子だと思います。奨励では先生や生徒の話聞くことで人生の道標となることもあります。このひと時で、心が落ち着き、爽やかな気持ちで一日が始まります。

## 2024年度 学年担任団紹介

1 学年 主任 石垣芳人(保体) 副担任 中村真(芸術)、相澤尚美(国語)、佐藤潤(社会)、佐藤健人(調理)、河野裕美子(家庭)

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
能登幸雄 (数学)	齊藤 卓 (英語)	及川 武 (理科)	三澤由有実 (国語)	久間木 幸 (保体)	長沼希裕 (商業)	青木 凌 (数学)	佐藤秋桜音 (保体)	佐藤奈々 (家庭)

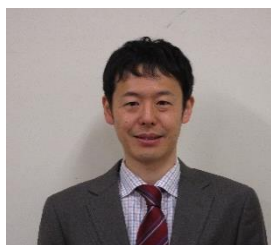
2 学年 主任 遠藤桂子(社会) 副担任 今野 潔(理科)、寒河江達雄(国語)、山田莉紗(家庭)、菅原拓海(情報)

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
小島瑤子 (国語)	佐藤幹太 (理科)	佐藤知恵 (英語)	舟越和外 (保体)	伊藤祥哉 (英語)	大友 翼 (社会)	伊藤寛和 (数学)	伊藤 歩 (家庭)	佐藤映梨子 (数学)

3 学年 主任 杉浦敦子(家庭) 副担任 佐藤幸人(保体)、奥野雅子(理科)、佐藤重宣(調理)、佐藤あかね(家庭)、Gary Thomas(英語)

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組
山田梨沙 (国語)	佐藤文哉 (社会)	小関雅也 (数学)	山澤駿海 (社会)	遠藤 史 (国語)	奥山光彦 (商業)	遠藤尚幸 (聖書)	土屋将大 (英語)	水戸秀徳 (数学)

## 新任の先生紹介



佐藤 潤 先生  
社会・1年副担任

20年宮城で教員をしてきましたが、ご縁をいただき山形の地で新たな教員生活をスタートすることになりました。皆さんと楽しい時間を共有できたら幸いです。宜しくお願いいたします。



菅原拓海 先生  
情報・2年副担任

みなさん一人ひとりが目標を達成できるように全力でサポートをしたいと思っております。充実した楽しい学校生活にしていきましょう！これからよろしくお願いたします！



佐藤あかね 先生  
家庭・3年副担任

学院の皆さんは明るく挨拶もしっかりしていて何事にも真剣に取り組んでいる姿が印象的です。私も負けずに元気に頑張ります！楽しい学校生活にしていきましょう！



濱 凧沙 先生  
司書

母校に戻ってこられて嬉しいです。本を読むこと、ラーニングセンターのことを好きになってもらえるよう様々な展示や企画に挑戦していきたいと思っています。

## 「子ども」 (作：ドロシー・ロー・ノルト アメリカの家庭教育学者)

「批判ばかりされた 子どもは 非難することをおぼえる  
殴られて大きくなった 子どもは 力にたよることをおぼえる  
笑いものにされた 子どもは ものを言わずにいることをおぼえる  
皮肉にさらされた 子どもは 鈍い良心のもちぬしとなる  
しかし、激励を受けた 子どもは 自信をおぼえる  
寛容であった 子どもは 忍耐をおぼえる  
賞賛を受けた 子どもは 評価することをおぼえる  
フェアプレーを経験した 子どもは 公正をおぼえる  
友情を知る 子どもは 親切をおぼえる  
安心を経験した 子どもは 信頼をおぼえる  
可愛がられ 抱きしめられた 子どもは 世の中の愛情を感じることを おぼえる」

『あなた自身の社会スウェーデンの中学教科書』

(アンネ・リンドクウィスト、ヤン・ウェステル著、川上邦夫訳、新評論※稿者注=各節内の改行は省略)